

花岡事件から学ぶ

人類の願いはひとつ 恒久平和

～日中友好親善の集い・平和祈念祭～

日中友好親善の集い「平和祈念祭」が六月二十九、三十の両日開かれました。平和祈念祭は花岡事件から四十周年にあたり、中国人殉難者の霊を慰めるとともに、これを機に日中友好をより緊密なものとし、併せて広く世界に平和を訴えていこうと、大館市が主催したものです。

二十九日は中国側来賓が事件ゆかりの地の花岡、獅子ヶ森などを歴訪、そのあと親善パーティーで市関係者と友好を深めました。また三十日には殉難者慰霊式及び平和祈念式などが行われ、二度とあのような悲劇が世界のどこでも繰り返えされないうように、平和への誓いを新たにしました。



▲王参事官と堅い握手をする畠山市長（親善パーティー）

昭和二十年六月三十日、中国から強制連行され、食糧も十分に与えられず過酷な労働と拷問によつて多くの中国人犠牲者を出した「花岡事件」は、今も多くの市民、関係者の胸に大きな傷跡となつて残っています。事件からちょうど四十周年を迎えた今年六月二十九・三十の両日、市ではこの事件を事実として認めることから出発し、殉難者のご冥福を祈りながら、報

いる唯一の道として、広く世界に平和を求めつづけよう」と「日中友好親善の集い・平和祈念祭」を開催しました。

特に中国側からは王豊玉駐日中国大使館参事官をはじめ、事件の生存者で札幌市在住の劉智渠さん、李振平さんらにお越しいただき、二十九日にはかつて遺骨が納められていた花岡の信正寺や拷問のあった共楽館跡地、そして日中不再戦友好之碑などを見て回りました。なかでも十瀬野公園の慰霊碑前では、李さんらは刻まれた仲間の名前を一つひとつ確かめるように見詰め、悲しみに耐えながら改めて事件の悲惨さを訴えていました。

翌三十日には市民体育館で「中国人殉難者慰霊式」が行われ、関係者、一般市民ら約千人が参列しました。菊の花で飾られた祭壇に殉難者の名簿を奉納したあと、市



▼殉難者のご冥福と平和を祈つて黙とう（慰霊式）



▲「祈 人類恒久平和」と書かれた五百個の風船が大空に（平和祈念式）

内十カ所から集められた清水を献水。つづいて参列者の献花が行われ、午前十時四十五分、サイレンと市内寺院の打鐘を合図に一分間の黙とうで霊を慰めました。

また引き続き桂城公園で行われた平和祈念式では、畠山市長から力強く平和宣言が出され、会場を埋めた多くの市民とともに、平和への新たな誓いが確認されました。

対話の集い 市民と語る会

市では、市民の皆さんから市政に対するご意見やご要望をお聞きするため「市民と語る会」を開催しています。

「市民と語る会」開催してあります。

へときへところへ

7月29日(月)	大披	会館
30日(火)	櫃崎	会館
8月1日(木)	高村	会館
2日(金)	中台	会館
5日(月)	館	会館
19日(月)	曲田	会館
20日(火)	猿間	会館
22日(木)	沢尻	会館
23日(金)	十三森	会館
26日(月)	土目内	公民館
27日(火)	二井山	公民館

市民文化会館 催し物のご案内

市民文化会館主催のこれからの事業をご案内します。

◆子供芸術劇場

「ヘンゼルとグレーテル」

とき・8月8日(木)午後2時
※文化庁の指導により学校引率となつたため、親子鑑賞ができなくなりましたのでご了承ください。

◆中村紘子ピアノリサイタル

とき・9月17日(火)午後6時半

◆劇団東演「ナターシャ」公演

とき・10月26日(土)午後6時半

◆東京フィルハーモニー交響楽団

とき・11月11日(月)午後6時半

入場券発売日・10月1日から
問合せ・市民文化会館 ☎49・7066